

コクゾウムシの越冬生態について

研究の背景

- ・貯穀害虫の生態はコクゾウムシのような重要害虫であってもほとんど分かっていない。

研究の内容

- ・茨城県内の米貯蔵庫において、冬季の成虫の活動を調査したところ、成虫は11月頃に米貯蔵庫から脱出し、貯蔵庫のそばに置かれているブロックの下などで越冬することが観察できる。
- ・モデル試験としてスチール製倉庫内でコクゾウムシの行動を実験したところ、11月頃から米の入った容器から脱出する成虫が見られる。
- ・成虫以外の状態での越冬は特に強調されてこなかったが、幼虫などの発育段階での越冬もモデル試験では認められる。

コクゾウムシの生態の模式図



の

- ・貯穀害虫の生態をし、それにいたなをする。

ら 米貯蔵倉庫にお る貯穀害虫の季 動について 害虫